

スマート保安官民協議会（高圧ガス保安部会）

アクションプランへの進捗報告

2024年2月28日

旭化成株式会社



DX銘柄2023
Digital Transformation

アクションプランの進捗状況

凡例

■ 運用、展開済み

■ 対応済み、運用中

■ 運用に向けた準備中

■ 実証実験、PoC中

■ 課題検討中

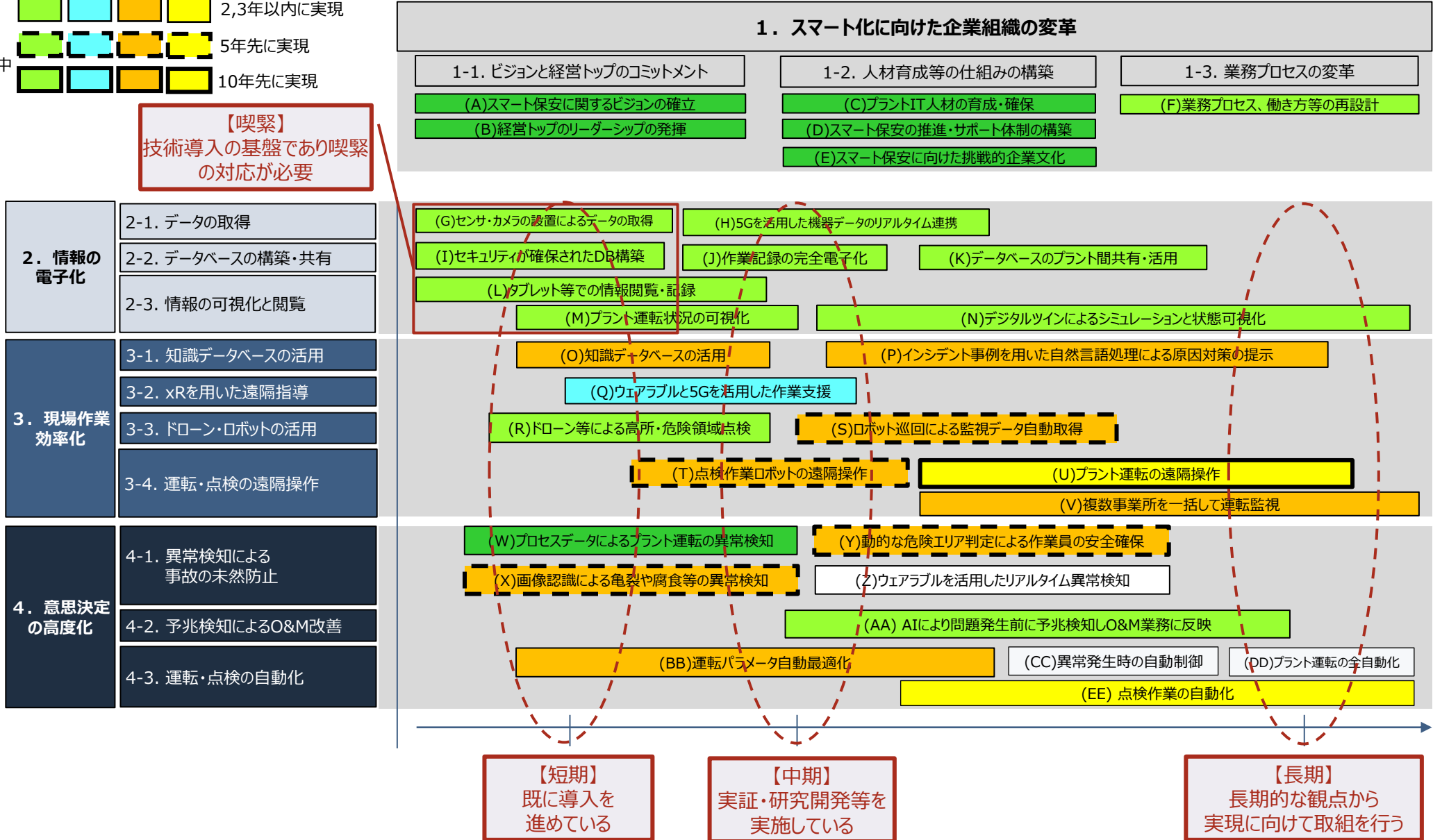
□ 今後の検討課題

■ 2,3年以内に実現

■ 5年先に実現

■ 10年先に実現

【喫緊】
技術導入の基盤であり喫緊
の対応が必要



アクションプランの進捗状況

凡例

■ 運用、展開済み

■ 対応済み、運用中

■ 運用に向けた準備中

■ 実証実験、PoC中

■ 課題検討中

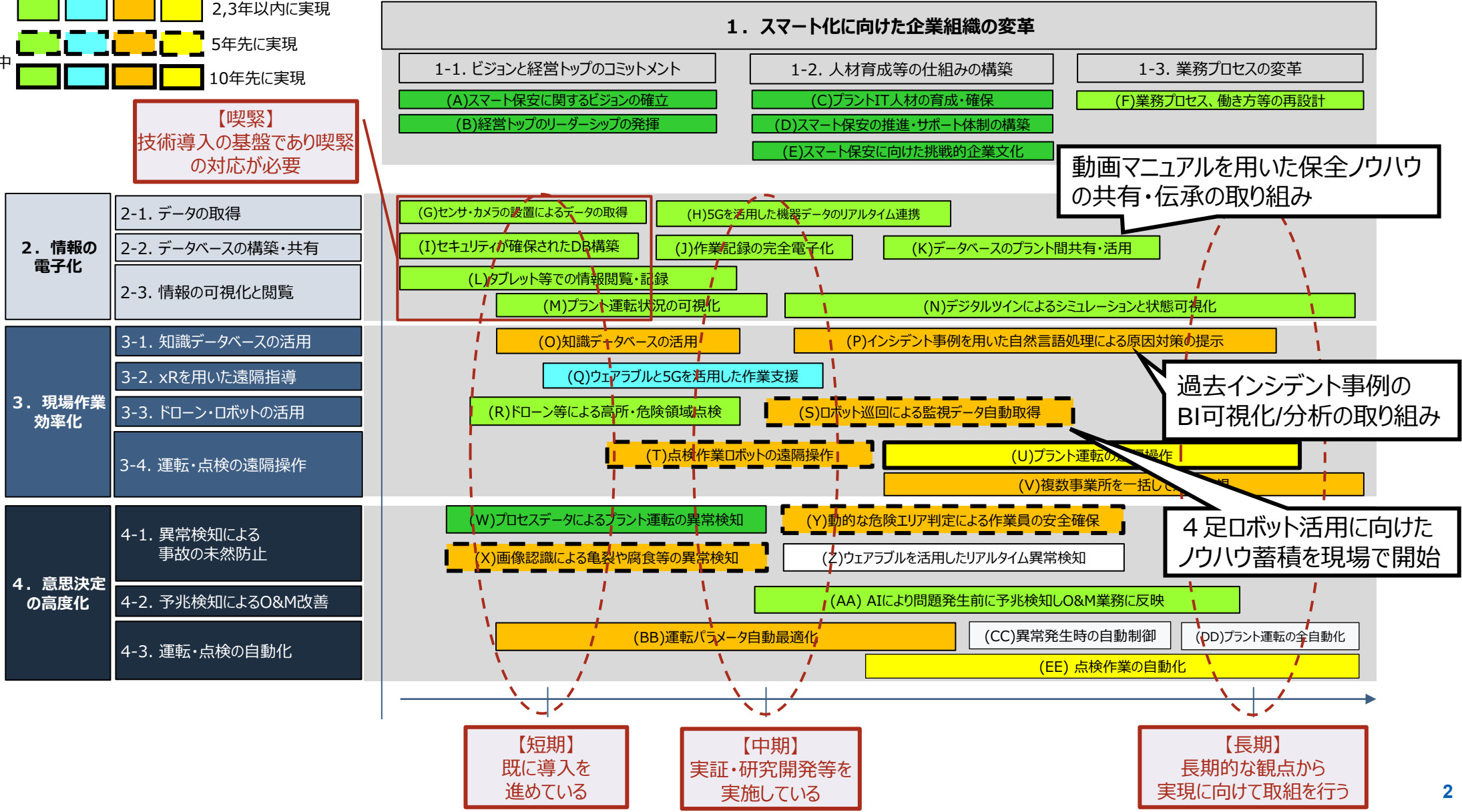
□ 今後の検討課題

■ 2,3年以内に実現

■ 5年先に実現

■ 10年先に実現

【喫緊】
技術導入の基盤であり喫緊
の対応が必要



スマート保安推進の課題

スマート保安を進めるにあたり、全体的な課題としては以下の通り。

課題	内容	区分
防爆規制緩和	本官民協議会および事前検討会の内容と同じ	法規制/業界ルール
リソース不足	スマート保安を実行していくためのデジタル人財、実行予算確保が不足している	技術 コスト
安定/安全なデータ 通信基盤の構築	センサやカメラなどのスマート保安に必要なツール導入が進むほど通信容量を圧迫する。 また、広域災害時等に備えて災害等に頑健な通信回線を整備する必要があるが1事業者 単位では高額で費用対効果が見えず現実的ではない	データ コスト
データ不足 データ共有	精度よいモデル作成のために個社では限界があるケースもあるが、業界横断でデータ共有す る仕組みが整備されていない（社内の意思決定者、企業共通のデータ整備）	データ その他
AIモデル運用	実際のプラント運転に耐えうるAIモデルの構築（清掃や交換後のモデル再学習など）	技術

AsahiKASEI

昨日まで世界になかったものを。

私たち旭化成グループの使命。

それは、いつの時代でも世界の人びとが“いのち”を育み、

より豊かな“くらし”を実現できるよう、最善を尽くすこと。

創業以来変わらぬ人類貢献への想いを胸に、

次の時代へ大胆に応えていくために一。

私たちは、“昨日まで世界になかったものを”創造し続けます。

